

平成14年 春季賃上げ 要求・妥結状況調査（最終集計）

福岡県生活労働部労働局労働政策課では、県内に事業所をおき労働組合のある企業300社（従業員数300人以上の大手150社、300人未満の中小150社）を対象として、毎年、春季賃上げの要求・妥結状況調査を実施している。

調査対象企業のうち、回答のあった230社について集計を行った結果は次のとおりである。（集計は、平成14年12月10日現在）

1 平均要求額

（1）平均要求額は、5,804円となっている。

（2）要求額が最も高いのは、新聞放送業で12,224円、次いでサービス業7,901円、運輸業7,153円、化学製造業6,459円の順となっている。

逆に、最も低いのは、建設業で3,577円、次いで輸送機器製造業3,600円、鉄鋼業3,997円、電気機器製造業4,291円の順となっている。

（3）規模別にみると、大手122社の平均要求額は5,589円となっている。一方、中小108社の平均要求額は6,046円となっている。

2 平均受結額

- (1) 平均受結額は、3,139円、賃上げ率は1.19%となっている。
前年(平均受結額4,163円、賃上げ率1.60%)と比べると、受結額、賃上げ率ともに前年を下回っている。
- (2) 受結額が最も高いのは、化学製造業で5,146円、次いでサービス業4,975円、非鉄金属製造業4,768円、電気ガス業4,233円の順となっている。
逆に、最も低いのは、木材家具製造業1,264円、次いで運輸業1,779円、印刷業2,042円、機械金属製造業2,287円の順となっている。
- (3) 賃上げ率が最も高いのは、サービス業で1.86%、次いで化学製造業1.77%、電気ガス業1.68%の順となっている。
逆に、最も低いのは、木材家具製造業で0.59%、次いで運輸業0.73%、印刷業0.88%の順となっている。
- (4) 規模別にみると、大手122社の平均受結額は3,578円、賃上げ率1.27%で、前年(平均受結額4,574円、賃上げ率1.63%)と比べると、受結額、賃上げ率とも前年を下回っている。
また、中小108社の平均受結額は2,643円、賃上げ率1.09%で、前年(平均受結額3,694円、賃上げ率1.56%)と比べると、受結額、賃上げ率とも前年を下回っている。
受結額を比較すると、大手が中小を上回っており、その差は935円となっている。
- (5) 地区別にみると、受結額は高い方から福岡、北九州、筑豊、筑後の順となっている。大手では北九州、福岡、筑豊、筑後の順となっているが、中小では福岡、筑豊、北九州、筑後の順となっている。